



平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名： NCホールディングス株式会社
代表者名： 代表取締役社長 吉川 勝博
(コード： 6236 東証第一部)
問合せ先： 管理本部 部長 岡田 邦壯
電話番号： 03-6859-4611

業績、配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 2 月 10 日に公表した通期連結業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|--------|------|-------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 11,000 | 100 | 100 | 50 | 7円79銭 |
| 今回修正予想 (B) | 10,880 | 180 | 230 | ▲120 | ▲18円70銭 |
| 増減額 (B-A) | ▲120 | 80 | 130 | ▲170 | |
| 増減率 (%) | ▲1.1 | 80.0 | 130.0 | — | |
| (ご参考) 前期実績 | — | — | — | — | — |

当社は平成 28 年 4 月に単独株式移転の方法により設立されたため、前期実績はありません。

(ご参考) 当社の連結子会社の日本コンベヤ株式会社(平成 28 年 4 月 1 日付当社との株式移転により、平成 28 年 3 月 29 日付で上場廃止)の平成 28 年 3 月期実績(連結)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|------|------|-------------------------|----------------|
| (ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期) | 10,185 | 132 | 156 | 51 | 79銭 |

2. 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------------|--------|----------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 前回予想 (平成29年2月10日発表) | — | — | — | 5 円 00 銭 | 5 円 00 銭 |
| 今回修正予想 | — | — | — | 0 円 00 銭 | 0 円 00 銭 |
| 当期実績 | — | 0 円 00 銭 | — | | |
| 前期実績 (平成28年3月期) | — | — | — | — | — |

当社は平成28年4月に単独株式移転の方法により設立されたため、前期実績はありません。

(ご参考) 当社の連結子会社の日本コンベヤ株式会社(平成28年4月1日付当社との株式移転により、平成28年3月29日付で上場廃止)の平成28年3月期実績

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------------|--------|----------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 前期実績 (平成28年3月期) | — | 0 円 00 銭 | — | 1 円 00 銭 | 1 円 00 銭 |

3. 修正理由

業績予想につきましては、立体駐車装置関連が新規設備納入・メンテナンスともに堅調で、売上高、営業利益ともに当初見込みどおりの増収増益となったものの、コンベヤ関連の売上が前回予想(平成29年2月10日)時より公共工事全体の遅れ幅の広がり、工事規模の縮小が生じたために、連結ベースでの売上高が120百万円ほど下振れしましたが、一方で、利益率の改善、販売管理費の圧縮効果により、営業利益が80%、経常利益は130%改善し、それぞれ前回予想を大きく上回る見通しであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、その他有価証券に区分される保有有価証券のうち時価が著しく下落し回復が認められないものの減損処理による有価証券評価損86百万円を特別損失として計上する必要が生じたこと(平成29年4月4日発表済)及び法人税、住民税及び事業税、非支配株主に帰属する当期純損失が増加したことにより、170百万円悪化し、親会社株主に帰属する当期純損失は120百万円になる見通しであります。

配当予想につきましては、当社は、事業基盤を強化し企業価値を高めるため、内部留保を充実させることや会社業績に応じて株主へ成果を配分していくこと、これらを総合的に勘案した上で安定的に株主の皆様へ利益還元することを利益配分に関する基本方針としております。平成29年3月期の業績予想が特別損失に伴い親会社株主に帰属する当期純損失(1株当たり当期純損失18円70銭)となる見通しとなりましたが、その主要因が資産の評価損失等の臨時的損失であったため前回修正させていただきました1株当たり5円の予想を堅持することも検討いたしました。しかしながら、現在は内部留保を充実させることを優先させることが株主様の利益につながるとの判断から、株主の皆様には、今後、更なる財務体質を改善させた上で、改めて配当させていただきたいと判断し、期末配当金予想を無配とさせていただきました。

以上